

クラス番号	650	担当教員名	天池 洋介
テーマ	若者の労働と生活の支援 ―若者による若者のエンパワーメント―		
著書・論文	論文：「スウェーデン労働組合の経済政策」『日本福祉大学社会福祉論集(130)』(2014) 「労働組合における〈場〉の機能 ―共存型居場所による多様性のある労働組合の展望―」 『社会文化研究 第17号』(2015 掲載予定)		
研究課題等	研究課題：スウェーデンの経済政策、福祉国家制度の研究 労働市場における若者のエンパワーメント		

ゼミナール概要

キーワード：仕事、労働、就職活動、労働組合、若者、ポップカルチャー、居場所、共同、社会的起業

< 目的 >

終身雇用制度が大きく揺らいで、同時に若者を中心にバイトや派遣などの非正規雇用が急速に広がっています。本来、健康で元気があり、他の世代よりも仕事ができるはずの若者が、低賃金や劣悪な雇用条件の広がりによって人為的に「社会的弱者」とされてしまっています。そこで若者たちはどのように生活し、どのように社会に向き合えばいいのか、考えます。

メディアで流される多くの論調は、「若者が情けない」論や、「若者がかわいそうだ」論が多く、若者の外側から見た「上から目線」のものばかりです。対策も「どうやって若者を管理するか」か、「どうやって若者を助けてやるか」といったもので、そこには若者の姿も思いも反映されていません。悲惨な仕事を無理やりやらせるブラック企業も、あまり役に立たない「若者サポート」も、若者自身が声を上げ、行動しなければ変わりません。しかし、どうやって声を上げ、何をしたらいいのでしょうか。このゼミでは、それを一緒に考えます。

< 内容・授業計画 >

3年次の前期では、仕事や労働についての基礎知識、労働市場（就職活動）、労働現場の現状、労働法、労働組合、就職活動について、を文献資料を使って学習します。後期では、若者の文化やポップカルチャーについて学び、私たちには何ができ、そしてどのように働き、どのように生活したらいいのか、「若者自身によるエンパワーメント」の視点から考察します。また平行して、基礎的技術の習得をします。本の読み方、資料の調べ方、文章の書き方、討論の仕方、マルチメディア機器の使い方を学びます。仕事や生活をする上で人間関係は欠かせないものですし、多くのトラブルの根源となるものなので、人間関係や居場所の作り方をしっかりと身に着けます。

基本的な知識や技能が身についたら、主に長期休暇期間にフィールドワークに出かけます。そして、アウトプットとして、3年次は簡単な映像作品を作成してもらう予定です（設備環境によっては応相談）。

4年次は相談業務の知識を学び、卒業論文を書きます。卒業論文は、自分の興味のあることを論理的に考え、とことん追求し、客観的な資料で裏付け、わかりやすく他の人に伝えるという、調査やプレゼンテーションのための重要なトレーニングです。やってみるとけっこう大変ですが、絶対に将来の役に立つのでがんばって書いてもらいます。

< 方法 >

グループ・ディスカッションとグループ作業が中心です。自主学習と共同作業を両輪として進めていきます。フィールドワークでは、その分野の人の内面に迫ってもらいますので、いろいろな人と円滑にコミュニケーションをとれる力を鍛えます。
本ゼミの研究対象は皆さん自身、もしくは皆さんの日常生活です。マンガや雑誌、音楽や動画、おしゃべりやバイトなどが研究対象です。何気なく過ごしている日々を理論的・客観的にとらえ、問題を抽出していきます。

マルチメディア、特にスマートフォンを活用して、わかりやすいアウトプットを作成します。

教員からのメッセージ



エントリーシートには、1) 仕事に対するイメージや思い、2) 好きな音楽やファッション、マンガ、スポーツなどについて、その理由も含めて「熱く」書いてください。質問があったら、gsnqm319@yahoo.co.jp までメールを送ってください。オリエンテーションやゼミ見学、もしくは個別相談に参加してください。

フィールドワークは夏期休暇中に広島県尾道市に行く予定です（参加は任意）。また、愛知県内のカフェや雑貨屋などの調査や、卒論を書くための合宿もします。

「楽なゼミ」ではなく、「楽しいゼミ」にしたいと思っています。いろんな人と話し合い、学びあい、共感しあって、クオリティの高いものを作り上げていく。そんな楽しい経験を自信に変えて、社会に乗り込んでもらいたいです。